

1. 調査目的

大阪府、市町村及び学校が、生徒の学力等の状況を把握し、教育の成果と課題を明確にするとともに指導の充実・改善を図る。生徒自身が自分の学習の到達状況を正しく理解することにより、目標を持ち、学力向上への意欲を高める。また、大阪府が調査結果を活用し、公立高等学校入学選抜における評定の公平性担保に資する資料を作成し、市町村や学校に提供する。

2. 調査対象学年

中学校：第3学年生徒

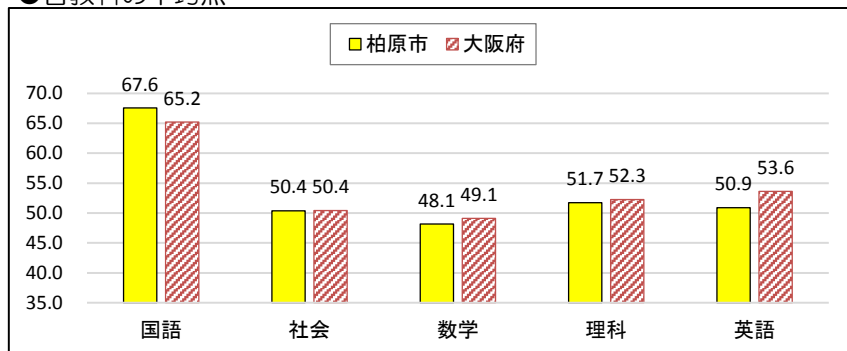
3. 調査内容

国語・社会・数学・理科・英語・アンケート調査

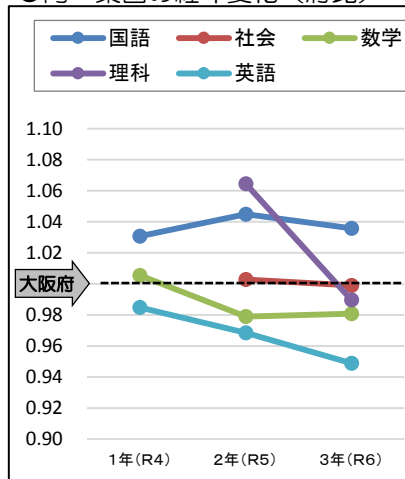
調査問題 : https://www.pref.osaka.lg.jp/o180080/challenge_r6_mondai.html

結果資料 : https://www.pref.osaka.lg.jp/o180080/shochugakko/challenge/r6challenge_kokka.html

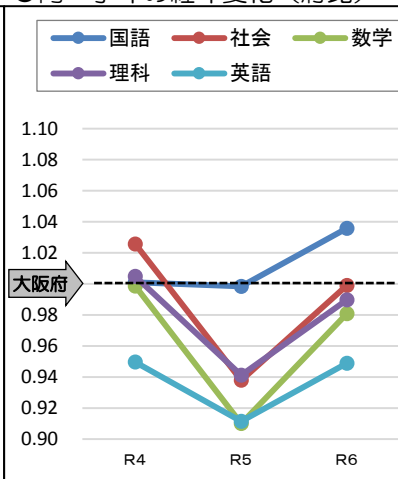
●各教科の平均点



●同一集団の経年変化（府比）



●同一学年の経年変化（府比）



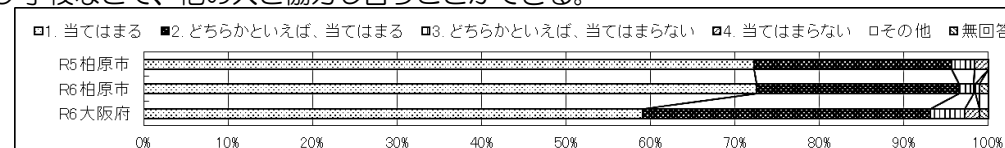
●アンケート結果より

《強みや課題》

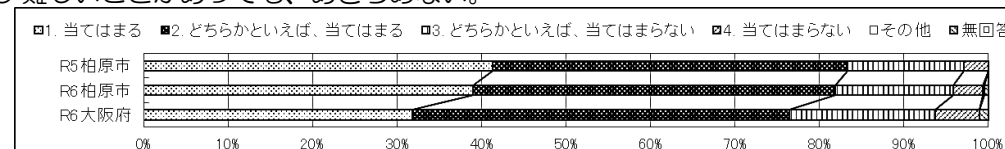
- 学級の雰囲気、他者との協働、挑戦心等において、肯定的な姿勢をもっている。
- 大事な部分や要点を意識して文章や資料等を読み取ろうとしている。
- 短時間であっても日常的に読書をする機会がある。
- ▼授業中にタブレット端末を活用して意見を交換する機会が少ない。
- ▼日常的にスマートフォン等をゲーム・SNS等を使う時間が長い。（ただし、2年次よりは改善している）

《特徴的な質問項目》

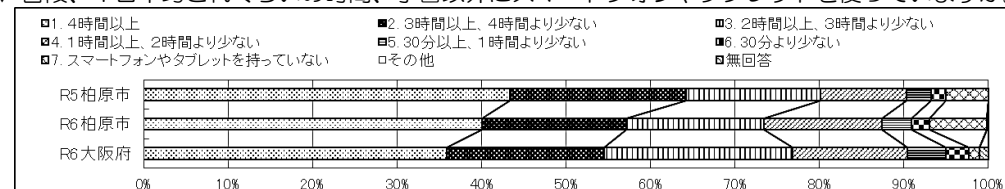
- 学校などで、他の人と協力し合っている。



○難しいことがあっても、あきらめない。



▼普段、1日平均どれくらいの時間、学習以外にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



《結果概要》

国語で大阪府の平均点を上回っています。それ以外の教科では大阪府の平均点を下回っていますが、昨年度の3年生との比較（対大阪府比）では、すべての教科で向上しています。

学級の雰囲気もよく、他者と協働しながらあきらめずに取り組む姿勢が見られます。一方で、授業中にタブレット端末を活用して協働的に学ぶ機会が少なく、また、スマートフォン等をゲームやSNSに使用している時間が長いことが課題です。

《引き続きご家庭にお願いすること》

- ①基本的な生活習慣の定着
- ②家庭学習の時間の確保・支援
- ③スマートフォン等の端末の適切な利用

詳細な結果を記載した参考資料は市HPに掲載しています。

https://www.city.kashiwara.lg.jp/files/00538077/R6challenge_3_sankou.pdf

